

---

九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 1 月 19 日 第 349 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 2 月 2 日（木）です。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

- ・スキーバスの抜き打ち街頭監査を実施～軽井沢事故から 1 年を迎え事故の再発防止に向けて～
- ・「造船業インターンシップ」を大分地区で開催～造船業における産学ネットワーク構築に向けて～
- ・船員派遣事業に係る講習会を開催～船員労働力の円滑な移動を促進するために～

### 2 お知らせ

- ・「自動車事故防止セミナー 2016」を開催します～みんなの力をあわせて安全・安心を～
- ・「国土交通省生産性革命プロジェクト」パンフレット（改訂版）を作成しました

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

---

## 1 現場レポート

---

### ◆スキーバスの抜き打ち街頭監査を実施

～軽井沢事故の再発防止に向けて～

◎九州運輸局では、昨年 1 月に長野県軽井沢町で発生したスキーバス転落事故から 1 年となることから、1 月 13 日（金）21 時 30 分から JR 博多駅筑紫口の貸切バス駐車場にて、運行直前のスキーバス 3 台に対し無通告（抜き打ち）による街頭監査を実施しました。

#### ◇内容

- ・九州運輸局及び福岡運輸支局職員が道路運送法等の関係法令遵守状況（運転者の酒気帯びや過労運転、点呼の有無など）を確認。
- ・法令違反車両なし。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

・軽井沢スキーバス転落事故では、15 人が死亡、26 人が重軽傷を負いました。国土交通省はこのような悲惨な事故を二度と起こしてはならないという決意のもと、6 月に「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」をとりまとめ速やかに実施に移しています。今後もスキーバスをはじめ、貸切バスの安全・安心な運行を確保するために街頭監査等を通し安全対策の徹底を図っていきます。

◇街頭監査の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください

さい。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_349\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_349_1.pdf)

---

◆「造船業インターンシップ」を大分地区で開催  
～造船業における産学ネットワーク構築に向けて～

◎国土交通省では造船業における産学ネットワーク構築に向けたモデル事業として、平成28年12月5日から12月16日にかけて、大分地区（佐伯市・臼杵市・大分市）の造船所等にて「造船業インターンシップ」を開催しました。

◇内容

・高い国内生産比率と地方生産比率で経済と雇用を支えている造船業が、今後とも持続的に発展していくために必要な設計等に関わる技術者及び溶接・組み立て等を担う技能者を安定的に確保・育成するために、教職員や学生・生徒に魅力ある就職先としての理解を深めてもらうとともに、教育機関・関係自治体等と地域の造船事業者のネットワーク構築のためのガイダンス作成を全国展開するためのモデル事業として開催。

[大学生・大学院生向け技術者インターンシップ]

- ・平成28年12月5日（月）～9日（金）
- ・実施場所：下ノ江造船(株)、佐伯重工業(株)、(株)三浦造船所、(株)臼杵造船所、臼杵市中央公民館
- ・設計・溶接・塗装などになどに必要な座学・実習、工場見学、進水式見学、若手社員との懇談会等
- ・参加者数8人

[高校生向け技能者インターンシップ]

- ・12月12日（月）～16日（金）
- ・実施場所：佐伯重工業(株)、(株)臼杵造船所、共栄船渠(株)、佐伯市市民ホール
- ・設計・溶接・塗装などになどに必要な座学・実習、工場見学、進水式見学、若手社員との懇談会等
- ・参加者数10人

[教職員向け造船研究会]

- ・12月14日（水）～15日（木）
- ・実施場所：(株)臼杵造船所、南日本造船(株)大在工場、三井造船(株)大分事業所、臼杵市中央公民館
- ・工場見学、進水式見学、グループ討論など
- ・参加者数7人

◇九州運輸局からのメッセージ

・九州運輸局管内では全国の新造船の約3割を建造しており、造船業は地域経済にとって無くてはならない産業です。昨年6月3日に交通施策審議会海事分会イノベーション部会より答申された「海事産業の生産性革命（i-shipping）による造船の輸出拡大と地方創生のために推進すべき取組について」でも指摘されている「人の力」の育成のため、今後も関係機関等と連携して若い人材に造船業への魅力を発信し、造船業を志す若者の拡大の支援に取り組んでいきます。

◇造船業インターンシップの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_349\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_349_2.pdf)

---

◆船員派遣事業に係る講習会を開催

～船員労働力の円滑な移動を促進するために～

◎九州運輸局では、1月11日（水）に福岡合同庁舎新館7階海技試験場（福岡市博多区）にて、船員派遣事業の適切な実施を目的とした講習会を開催しました。

◇内容

- ・九州及び山口県西部の船員派遣事業を営む36社の担当者43人が参加
- [講習会]
- ・開会挨拶（九州運輸局海事振興部長 待鳥明義）
  - ・講演①「船員災害防止教育の実践について」（船員災害防止協会安全管理士 神田一郎氏）
  - ・講演②「船員派遣業の概要及び派遣受入期間の制限について」（九州運輸局海事振興部労政課長 矢野達也）
  - ・「演習（船員派遣事業例）」（九州運輸局海事振興部専門官 山本正直）
  - ・質疑応答

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・船員派遣事業制度は、船員労働力の円滑な移動を促進するため平成17年に創設され、事業の特徴は、期間の定めのない常用雇用の船員のみを派遣の対象としていることです。
- ・船員派遣事業を行うためには国土交通大臣の許可を受ける必要があり、平成29年1月11日現在、全国で234社、九州運輸局管内では36社が許可を受けています。
- ・船員派遣事業の適切な実施が制度を支えており、九州運輸局でも平成27年度から講習会を開催しています。
- ・今回の講習会では、参加者から「船員労働安全衛生についての理解が深まるとともに、法令遵守について再確認できたので有意義な講習であった」との声も聞こえ、質疑応答でも熱心な質問が多く寄せられるなど非常に好評でした。
- ・良質な船員労働力の獲得が課題である海運業界の発展のため、今後も講習会を開催していきます。

◇講習会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_349\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_349_3.pdf)

---

2 お知らせ

◆「自動車事故防止セミナー2016」を開催します

～みんなの力をあわせて安全・安心を～

九州運輸局では、安全・安心なクルマ社会の実現に向け、次のとおり「自動車事故防止セミナー2016」を開催します。当セミナーでは、事業用自動車総合安全プラン2009の目標達成に向け、事故防止対策について広く理解を深めていただくことを目的としております。

是非この機会にご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時：平成29年2月16日（木）、13：30～17：00（受付12：45～）

会場：TKPガーデンシティ博多新幹線口（福岡市博多区博多駅中央街5-14）

定員：250人

講演1：事業用自動車の事故防止対策（国土交通省自動車局安全政策課専門官 秋山岳彦）

講演2：安全運転の考え方と指導・支援法（九州大学名誉教授 松永勝也氏）

講演3：長く元気に働くために～従業員の健康は事業所と個人で守るもの～（全国健康保険協会福岡支部 上村景子氏、弓削里香氏）

申込方法、申込書等はこちらのURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_349\\_4.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_349_4.pdf)

◆「国土交通省生産性革命プロジェクト」パンフレット（改訂版）を作成しました

国土交通省では「国土交通省生産性革命本部」を設置し、国土交通分野の生産性向上に取り組んでおり、昨年11月の同本部において新たに選定した7つのプロジェクトと2つのプロジェクトの拡充を加え、20の「生産性革命プロジェクト」について紹介するパンフレット（改訂版）を作成しました。

こちらの国土交通省ホームページから是非ご覧下さい。

[http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01\\_hy\\_005270.html](http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_005270.html)

※新たに追加・拡充したプロジェクトは次のとおりです。

- ・インフラメンテナンス革命～確実かつ効率的なインフラメンテナンスの推進～
- ・ダム再生～地域経済を支える利水・治水能力の早期向上～
- ・航空インフラ革命～空港と管制のベストミックス～
- ・トラック輸送の生産性向上～道路を賢く使う取組の推進～
- ・下水道イノベーション～“日本産資源”創出戦略～
- ・鉄道生産性革命～次世代技術の展開による生産性向上～
- ・クルマのICT革命～自動運転×社会実装～
- ・気象ビジネス市場の創出
- ・i-Shippingとj-Ocean～「海事生産性革命」が挑む、強い産業、高い成長、豊かな地方～（拡充）
- ・物流生産性革命～効率的で高付加価値なスマート物流の実現～（拡充）

—— 3 九州運輸局ホームページアップ情報 ——

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより //

先週末から最強寒波が日本列島を包み、日本海側を中心に大雪を降らせました。明日から再び冬型の気圧配置になり、九州でも雪が降るところがありそうです。冬用

